

キンダーブック2 2月号

表紙の絵から

ダンスが得意な白鳥さんです。照明のようなオーロラの下、湖で華やかに舞っている白鳥の親子がすてきですね。ペンギンやうさぎもうっとり見とれています。来月はみつばちさんが得意なことを教えてくださいませよ！



ゆきが ふってきた！

ねらい 雪をじっくり観察してみましょう。

雪がたくさん積もっている写真を見て、実際に雪を見たり触ったりしたことがあるか聞いてみましょう。次のページに進む前に、男の子の手のひらに落ちた雪に注目させましょう。



雪の結晶をじっくり観察して、子どもたちが気づいたことや、疑問に思ったことを話してもらいましょう。雪が降る機会があれば、誌面で紹介されているように、実際の結晶を見るのも楽しいですね。

樹氷の写真を見て「何に見える？」と尋ねてみましょう。裏表紙にも樹氷の写真が載っているので、併せて見立て遊びを楽しんでもよいですね。雪だるまや雪うさぎなどについて話し、雪が降ったらどんな雪遊びをしたいか、話題をふくらませてみましょう。



ちいさい こと いっしょに あそぼう

ねらい 年下の友だちともなかよく遊びましょう。

つかい方のポイント おひさまぐみの遊びにあこがれる年下の友だち。もくくんたちが年下の子の気持ちに気づいたり、どうしたらいっしょに楽しめるかを考えている姿に注目しましょう。子どもたちが主体的に年下の子と遊べるような機会を作れるとよいですね。



だいずの へんしん

ねらい 加工食品について知りましょう。

つかい方のポイント 大豆はふだん食べている物に多くつかわれています。「今日はどんな大豆の加工食品を食べたかな？」などと尋ねてもよいですね。昼食のときに、食べている物のなかに加工食品があるか、話題にしてみましょう。



「キンダーブック2」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

毎月季節の折り紙遊びがダウンロードできます！



<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kb2/origami>



コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
かんざつ 身近な不思議を知ろう 「ゆきがふってきた！」	<ul style="list-style-type: none"> ●雪の結晶について知る。 ●樹氷の見立て遊びを楽しむ。 ●雪を五感で感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●雪の結晶の図鑑を用意して、さまざまな形があることを伝え、折り紙などで結晶を作る工作遊びに発展させる。 ●絵本のほかに、樹氷や積雪の写真を用意して、見立て遊びができるようにする。 ●実際に雪が降ったら子どもたちと雪の感触を楽しむ。 	環境 表現 言葉	<ul style="list-style-type: none"> ●自然との関わり・生命尊重 ●豊かな感性と表現 ●思考力の芽生え
せいかつ 友だちの気持ちを知ろう 「ちいさいこと いっしょに あそぼう」	<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちより小さい子たちと遊ぶ。 ●小さい子たちの気持ちややりたいことを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●同じ遊びをとおして異年齢の関わりができるよう配慮する。 ●子どもたちが、自分がもっと小さかったときのことを思い出せるような声かけをする。 ●お兄さん、お姉さんということ意識できるように、なるべく子どもたち同士で遊べるように見守る。 	人間関係 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> ●協同性 ●思考力の芽生え ●言葉による伝え合い